



AKITA

県内経済

〔11月〕

概況

県内経済は、全体として持ち直しの動きが足踏みしている

木材の生産は堅調に推移しているが、電子部品、機械金属は低調な動きとなっている。建設は、公共工事が増加傾向で推移しているが、住宅着工は駆け込み需要の反動などで前年割れが続いている。個人消費は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は一部で改善の動きが弱まりつつあるが、高水準を維持している。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、車載向けが大幅に落ち込み、6か月連続で前年を下回った。機械金属の生産額は、輸送機械で海外向けの落ち込みが続いているほか、国内向けも消費税率引上げの影響などから大幅減となり、4か月連続で前年を下回った。木材は、製材品の生産量が10か月連続で前年を上回り、増加傾向を保っている。公共工事請負額は、5か月連続で前年を上回り、年度累計でも前年を上回って推移している。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁工事、民間工事ともに増加し、5か月連続で前年を上回った。住宅

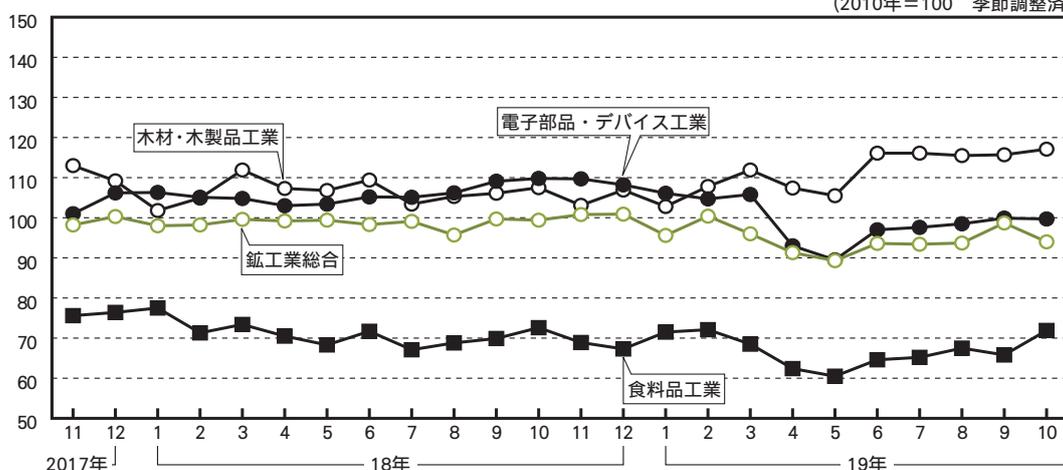
着工は消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動などで、5か月連続で前年を下回った。個人消費は、小売店販売額(10月)、新車乗用車販売台数がともに前年を下回った。駆け込み需要の反動から、全体として持ち直しの動きが足踏みしている。

有効求人倍率は前月比0.04ポイント低下の1.45倍となった。新規求人数は前年比14.7%減となり、7か月連続で減少した。事業主都合離職者数は20.1%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。

企業倒産件数は5件、負債総額は9億7,600万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2010年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

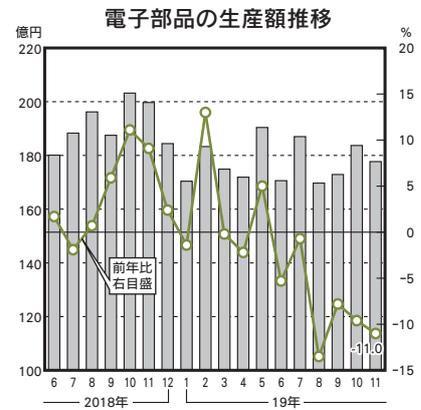
## 電子部品

生産額、前年比減少続く

11月の生産額は前年比11.0%減と6か月連続で前年実績を下回った。

落ち込みが続いていたスマートフォン向けは下げ止まり傾向にあるものの、車載向けは中国、北米、欧州をはじめ世界的な自動車生産台数の減少が続いていることから、落ち込み幅が拡大している。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは産業機器向けの市況悪化の影響を受け減少傾向にあり、半導体素子、産業向け液晶パネルは減少に歯止めがかかっていない。



(当研究所調べ、県内4社)

## 機械金属

生産額、4か月連続で前年比減少

11月の生産額は前年比15.8%減と4か月連続で前年実績を下回った。ウエイトの高い輸送機械において、海外向けの落ち込みが続いていることに加え、国内向けも消費税率引上げや災害の影響などにより停滞気味であることから、減少幅が大きくなっている。

その他の民需関連では、製鋼品は好調を維持しており、建機部品も堅調に推移している。落ち込みが続いていた金型は増勢に転じている。公共工事関連では、しばらく減少が続いていた橋梁・鉄骨が上向き傾向にあるものの、水道部品は減少に歯止めがかかっていない。



(当研究所調べ、県内8社)

## 木材業

製材品の堅調推移続く

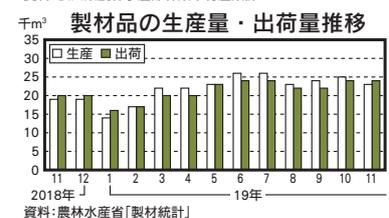
全国的には、新設住宅着工戸数の減少が続き秋需が盛り上がりや欠く中、リフォームや非住宅需要に災害復旧需要も加わり、普通合板が生産、出荷とも堅調の一方、製材品は前年実績を下回っているが、県内は製材品が堅調を持続している。

10月の普通合板は、生産量が前年比5.1%増と6か月ぶりに増加したものの、出荷量は同4.8%減と7か月ぶりに前年を下回った。それでも出荷量が生産量を上回ったため、在庫量は減少し、前年比41.8%減と6か月連続で前年を下回った。

11月の製材品は、生産量が前年比21.1%増、出荷量は同20.0%増と、引き続き増加基調を保っている。



資料：秋田県農林水産部林業木材産業課



資料：農林水産省「製材統計」

## 酒造業

### 出荷量、2か月連続で前年比減少

11月の清酒出荷量は、前年比8.5%減と2か月連続で前年を下回った。消費税率引上げの影響が和らぎ、前年比減少幅は前月に比べて縮小した。出荷先別では、県外向けが同5.8%減で、県内向けは同14.4%減と二桁の減少率となった。県外の主な出荷先別では、北海道が同3.8%減、東京は同10.1%減、東北5県も同10.7%減となった。

清酒の種類別では、普通酒は前年比14.4%減、特定名称酒は同1.5%減と、ともに前年を下回った。特定名称酒の内訳では、吟醸酒が同7.6%増と前年を上回った一方で、純米酒は同8.7%減、本醸造酒も同15.0%減と前年を下回った。



資料：秋田県酒造組合

## 建設業

### 公共工事 国、県等が増加し、5か月連続で前年比増加

11月の公共工事請負金額は、市町村が減少したものの、国、県等が増加し、前年比37.0%増と5か月連続で前年を上回り、年度累計でも前年同期比11.4%増となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の11月の新規受注額も、前年比215.1%増の5,473百万円と5か月連続で前年を上回った。うち官公庁工事は同70.5%増、民間工事も同712.8%増と、ともに大きく伸びた。いずれも土木は低調であったが、公立病院の新築、製造業の工場新築、物流業の拠点施設新築等、建築の大口受注が寄与した。年度累計でも前年同期比33.4%増と伸び率が拡大した。

#### 公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区分	11月	前年比	4月～11月	前年同期比
件数	155	△4.9	2,283	△2.1
請負金額	9,524	37.0	137,836	11.4

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

#### 地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区分	11月	前年比	4月～11月	前年同期比
官公庁	2,295	70.5	17,320	31.6
民間	3,178	712.8	7,869	37.6
合計	5,473	215.1	25,189	33.4

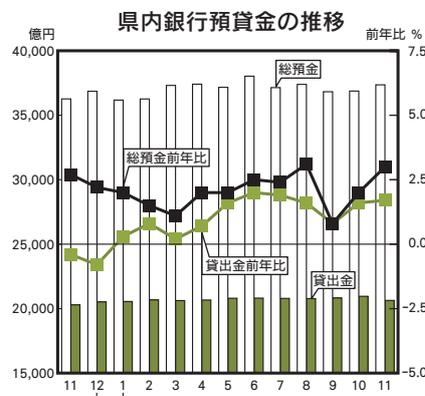
(当研究所調べ、県内12社)

## 金融

### 預金、貸出金とも前年比増加が続く

11月末の県内銀行の預金は、前月末比483億円増加し、前年比でも3.0%の増加となった。貸出金は、前月末比319億円減少したが、前年比では1.7%の増加となった。預金、貸出金ともに引き続き前年を上回って推移している。

11月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は5件(前年比2件減)、負債総額は9億7,600万円(同187.1%増)となった。倒産件数は2012年11月以降85か月連続で一桁台または0件で推移している。負債総額は、負債額1億円以上の倒産が3件あったため、前年同月との対比で大幅に増加した。



資料：秋田県銀行協会

## 住宅着工

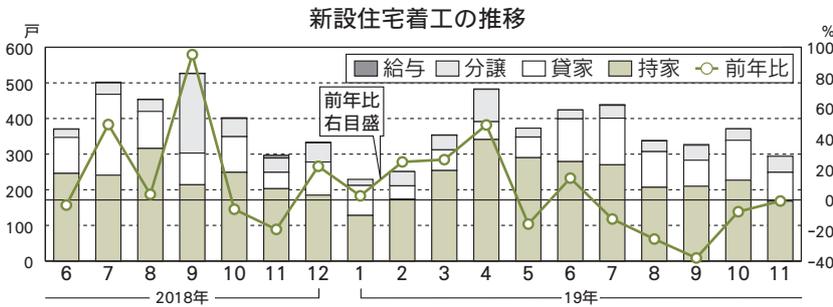
減少傾向が続く

11月の県内新設住宅着工戸数は、295戸（前年比2戸減、0.7%減）であった。貸家と分譲住宅は増加したものの、主力である持家のほか給与住宅が減少したため、5か月連続で前年を下回った。

利用関係別では、持家が168戸（前年比35戸減）、貸家が81戸（同35戸増）、分譲住宅が45戸（同5戸増）、給与住宅が1戸（同7戸減）となっている。

持家は4か月連続で前年を下回った。貸家は大館市、能代市、大仙市で民間の一般向け賃貸住宅が増加し、2か月連続で前年を上回った。分譲住宅は戸建が増加し、4か月ぶりに前年を上回った。

地域別では、持家と貸家の着工が減少した県央のみが、前年を下回った。県北は貸家と分譲住宅、県南は持家と貸家の着工が各々増加し、前年を上回った。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向 (単位：戸、%)

区分	2019年11月	前年比	19年1~11月	前年比
県北	80	2.6	817	5.6
県央	154	△8.3	2,040	△14.2
県南	61	19.6	1,027	17.8
合計	295	△0.7	3,884	△3.5

資料：秋田県建築住宅課

## 個人消費

持ち直しの動きが足踏みしている

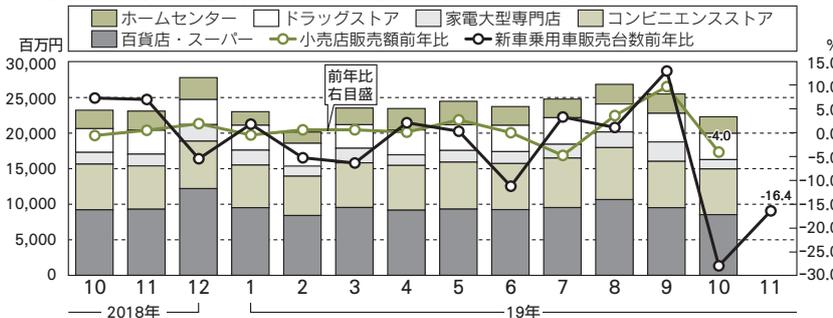
10月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、合計で前年比4.0%減となり、3か月ぶりに前年を下回った。ドラッグストア（同10.7%増）、コンビニエンスストア（同0.1%増）で増加したものの、家電大型専門店（同20.7%減）、ホームセンター（同10.2%減）などで減少した。

百貨店・スーパー販売額は、前年比7.4%

減となった。衣料品は、消費税率引上げの影響などから全体的に振るわず、3か月ぶりに前年を下回った。飲食料品も低調に推移し、6か月連続で前年を下回った。

11月の新車乗用車販売台数は、前年比16.4%減の2,550台となった。登録車、軽乗用車ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

11月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,550	△16.4
登録車	1,400	△16.3
普通車	557	△16.9
小型車	776	△17.4
輸入車	67	6.3
軽乗用車	1,150	△16.5

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標（前年比）(単位：%)

区分	8月	9月	10月
①消費者物価指数	△0.2	△0.1	0.2
②勤労者名目賃金	△3.7	△3.7	△3.1

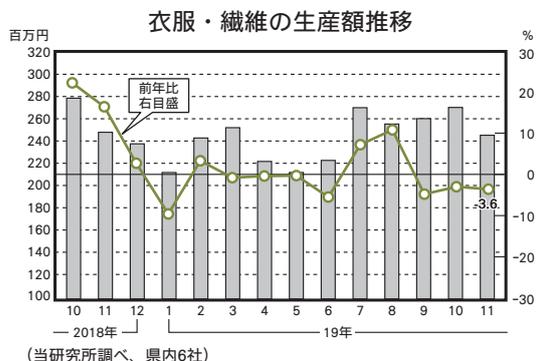
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）  
②秋田県（事業所規模5人以上）

## 衣服・繊維

### 生産額、3か月連続で前年比減少

11月の生産額は、前年比3.6%減となった。冬物から春物への切り替えの時期であるが、受注ロットの減少などから3か月連続で前年を下回った。

受注も、百貨店におけるアパレル関係の売り場面積縮小等の影響もあり、3か月連続で前年を下回った。



## 雇用

### 有効求人倍率は1.45倍、高水準続く

11月の有効求人倍率は、1.45倍となった。前月比0.04ポイント低下したものの、高水準が続いている。常用の内訳では、一般は前月比0.01ポイント低下の1.39倍、パートは同0.01ポイント低下の1.48倍となった。

新規求人数は前年比14.7%減となり、7か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同20.1%減となった。「情報通信機械」で増加したものの、「電気機械器具」、「電子部品・デバイス・電子回路」など多くの業種で二桁の減少率となった。非製造業は同14.0%減となった。「建設」で増加したものの、「情報通信」、「サービス」のほ

か、人手不足から年末に向けた臨時求人の時期が例年より前倒しされた反動もあり、「卸売、小売」、「運輸、郵便」などでも二桁の減少率となった。

新規求職者数は前年比6.4%減と、2か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は、前年比20.1%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。

地域別雇用状況（パートを含む常用）をみると、新規求人数は県北、県央、県南の全地域で減少した。有効求人倍率は県北が最も高く1.66倍、県南が1.37倍、県央が1.35倍となった。

#### 業種別・新規求人内訳および新規求職者数（全数）

区 分		2019年10月		11月	
			前年比		前年比
新	規 求 人 計	9,691	△2.0	7,781	△14.7
	製 造 業	892	△10.9	748	△20.1
主 要 業 種 の 内 訳	食 料 品	210	1.0	126	△13.1
	織 維	156	△8.2	145	△17.1
	木 材 ・ 木 製 品	40	△23.1	31	△13.9
	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路	136	23.6	76	△26.9
	電 気 機 械 器 具	47	△7.8	48	△53.8
	情 報 通 信 機 械	5	△72.2	24	200.0
	非 製 造 業	8,799	△1.0	7,033	△14.0
	建 設	1,064	△6.1	892	9.6
	情 報 通 信	87	52.6	31	△55.1
	運 輸 ， 郵 便	775	31.8	379	△15.6
卸 売 ， 小 売	1,785	13.0	1,236	△19.8	
宿 泊 ， 飲 食 サ ー ビ ス	826	△17.8	1,016	△11.3	
生 活 関 連 サ ー ビ ス ， 娯 楽	268	△29.3	271	△28.9	
医 療 ， 福 祉	1,890	8.1	1,528	△15.7	
サ ー ビ ス	1,162	△16.0	737	△30.7	
新 規 求 職 者 数		4,003	△3.8	3,687	△6.4
有 効 求 職 者 数		15,635	0.2	15,232	△1.4

資料：秋田労働局職業安定課  
(注) 臨時・季節を含む。

#### 有効求人倍率および事業主都合離職者数

区 分		2019年8月 9月 10月 11月			
有 効 求 人 倍 率	常 用	1.35	1.37	1.40	1.39
	パ ー ト タ イ ム	1.43	1.46	1.49	1.48
	全 数 (季 調 済)	1.42	1.41	1.49	1.45
事業主都合離職者数		127	189	227	163
前 年 比		△30.6	△12.9	6.6	△20.1

#### 11月の地域別雇用状況（パートを含む常用）

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県 北	1,721	△2.0	1.66	0.03
県 央	3,451	△11.9	1.35	0.00
県 南	1,705	△10.6	1.37	△0.07
合 計	6,877	△9.3	1.42	△0.01

(注) 臨時・季節を除く。